

モデル SA-21cf

施工説明書



目次

1. 古いディスポージャーの取り外し
2. オーバーフロー等の接続
3. マウント部分の取り付け
4. 電気接続
5. 排水管エルボの取り付け
6. ワイヤレススイッチの取り付け
7. 配管取り付け図



施工は個人での取り付けも可能ですが
数年後の漏水、排水不良等トラブルの観点から
プロ業者にお任せください。

1.古いディスポージャーの取り外し

一般的な取り外し方法であるため、お使いの製品により異なる場合があります。

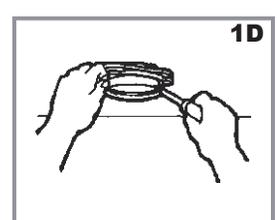
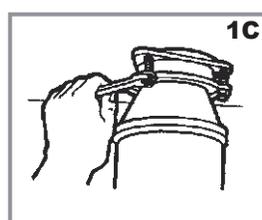
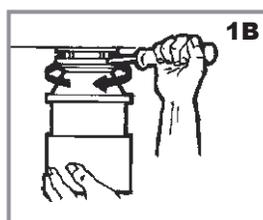
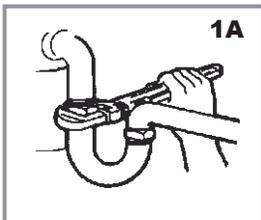
注意：この作業を行う際には、マウント部分からマウントリングを外すときにディスポージャーが落ちないように支えてください。

古いディスポージャーのマウントが新しく取り付ける製品と同じタイプの場合は、セクション3の組立手順を逆に進めます。新しいマウントが異なるタイプの場合は、ここに記載されている説明に従ってください。

作業を始める前に、ブレーカーの電源を落とします。ディスポージャーの電源プラグを抜きます。

- A. 現在のディスポージャーからの水/排水を受けるために使用する容器を用意します。
- B. パイプレンチを使って、ディスポージャーの排水用エルボと排水本管の接続部分を外します（1A参照）。
- C. マウントリングを時計回り（左方向）に回し、ディスポージャーをシンクのフランジから外します（1B参照）。マウントリングが回らない場合は、リングの突起部分をかなづちで軽く叩きます。製品のマウント方式によっては管状の突起が付いているものがあります。ドライバーを管に差し込むと、この作用でマウントリングを回すことができます（1B参照）。ディスポージャーによっては、マウント用ネジのナットをゆるめたり、取り外しが必要な場合があります（1C参照）。一部のディスポージャーでは、クランプの取り外しが必要な場合もあります。
- D. シンクから残るマウント部分を外すには、マウント用ネジを緩めてマウントリングを押し上げます。その下のスナップリングをドライバーで外します。（1D参照）マウントリング、保護リング、ガスケットをシンクのフランジから外します。一部のマウントでは、シンクのフランジを所定位置に保持する大きなリングを回して、緩める必要があります。シンクのフランジをシンクから引き上げて、シンクの古いパテを取り除きます。
- E. シンクがきれいである完全に乾燥していることを確認します。

重要：新しいディスポージャーを取り付ける前に、スネークワイヤーなどを使い排水管を清掃します。

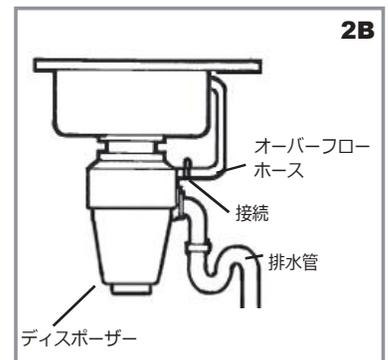
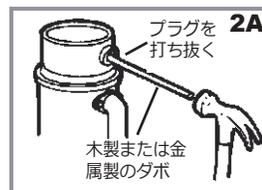


2.オーバーフロー等の接続

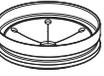
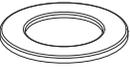
オーバーフローを接続しない場合は、セクション3に進みます。

オーバーフロー等のある場合は、次の手順を行ってください。

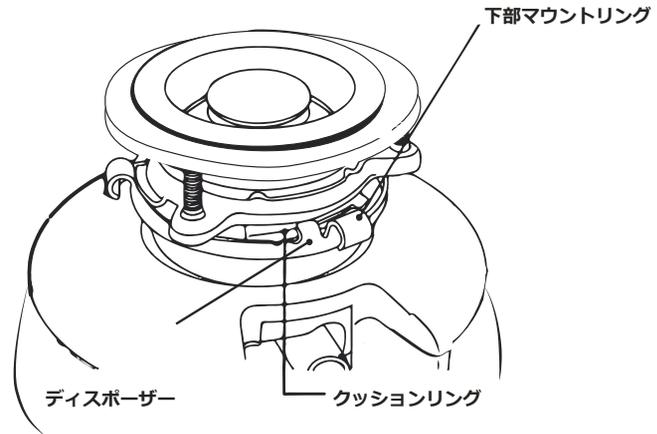
- A. 先の尖っていない工具（スチールパンチや木製ダボなど）でプラグを打ち抜きます。（2A参照）ドライバーなど鋭利な工具は使わないでください。（打ち抜いたプラグがディスポージャー内に落ちた場合は、取り除いてください）。
- B. オーバーフロー用ホースを締め付けリングや専用カウス等で接続します。水を流して、漏れがないか調べます。



3. マウント部分の取り付け

- A  ストッパー
- B  取り外し可能なスプラッシュガード
- C  シンクのフランジ
- C+  115φゴムパッキン (またはパテ)
- D  ファイバーガスケット
- E  サポートフランジ
- F  上部マウントリング
- G  マウント用ネジ
- H  リテーナーリング
- I  クッションリング*
- J  下部マウントリング*

作業を始める前に良くお読みください



注意：クッションリングは上部マウントリングと下部マウントリングの間に入ります。 * ディスポーザーを取り付けるときに外さない部品です。

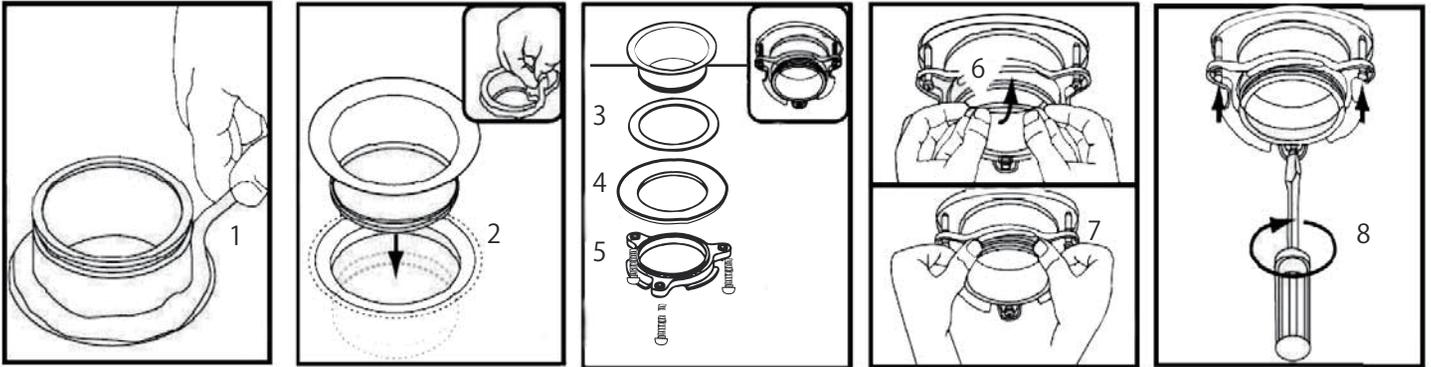
注意：マウント部分は工場で適切に組み立てられているため、マウント部分の部品の取り付け順には十分に注意を払ってください。

- a. クッションリングと下部マウントリングは、設置時にはディスポーザーに取り付けられたままです。下部マウントリングタブが上部マウントリングランプからスライドして外れるところまで、下部マウントリング (J) を時計方向にまわして、マウント部分からその他の部品を外します。これによってシンクのフランジを上を引き上げて、残りの下部マウント部分から外すことができます。これらの部品は必要な順番で取付けられているため、その順番に注意してください。上部マウントリングをサポートフランジの最上部まで動かせるように、3本のマウント用ネジを締めます。ドライバーでリテーナーリングを外します。
- b. 残りの部品を外した順番に一緒にして並べておきます。ディスポーザーをシンクの下のマウント部分に接続する前に、下部マウントリングが所定位置にあり、黒色クッションリングがホッパーの最上部に適切に嵌め込まれていることを確認してください。(クッションリングを外さないでください)

次ページ続き→

マウント部分の取り付け (続き)

※シンク排水口径 115Φの場合



c. シンクがきれいであることを確認してください。シンクフランジの下側リムにパテを盛ります (またはゴムパッキンをつける) (1)。シンクの上部から、シンクのフランジをシンク開口部に対して押し下げて、十分な密封性を確保します (2)。シールの損傷を防ぐため、シンクフランジを取り付けた後に動かしたり回転させないでください。

d. シンク口径が180Φ等の場合は口径差を調整するシンクアダプターを使用して下さい。

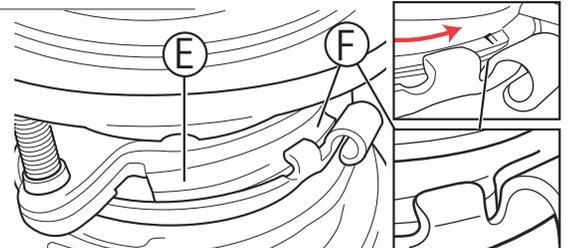
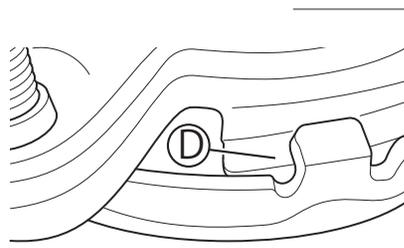
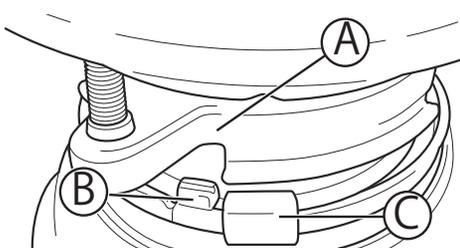
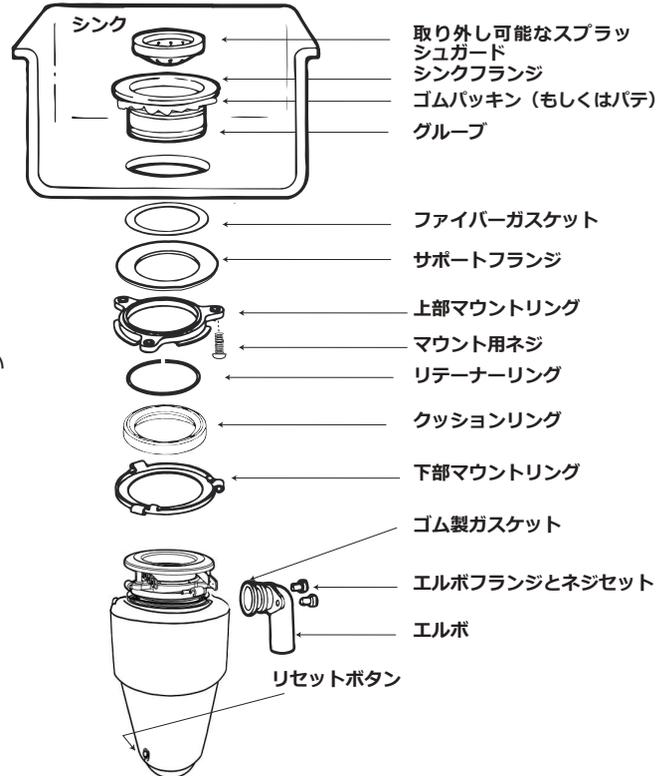
e. マウント部分から残りの部分を外して、脇に置きます。シンクの下からファイバークラスケット (3) を挿入してから、サポートフランジ (4)、続いて上部マウントリング (5) を挿入します。

f. リテーナーリング (6) を取り付けるために引き離して、シンクフランジ (7) の溝に留める間、3つの部品を定位置に保持しておきます。

g. 3本のマウント用ネジをサポートフランジ (8) に対して均等にしっかりと締めます。締めすぎないでください。

h. 余分なパテを切り取ります。(ゴムパッキン使用の場合は不要)

i. 下部マウントリングに付いている3つのマウントタブを上部マウントリングのスライドアップランプに揃えて、時計回りに回すことによって、ディスプレイを上部マウントリングに取り付けます。以下を参照してください。



下部マウントリング (これはディスプレイの一部です) にはマウントリングランプを留める3つのタブが付いています。(A) 上部マウントリングまでの各点。「ランプ」に沿って上にスライドさせるタブ。下部マウントリングの回転を補助するために使用される「耳」です。必要に応じて、この作用を利用するためにドライバーを使います。

3つすべてのマウントタブが上部マウントリングのスライドアップランプ (D) に付いているリッジ (F) の上方でロックされるところまで、下部マウントリングを持ち上げて反時計方向に回します。

下部マウントリングを反時計回りに回転させると、各タブが上部マウントリングランプ (E) に沿って上方にスライドし、リッジ (F) の上方で所定位置にロックされます。

必要に応じて、この作用を利用するためにドライバーまたはハンマーを使います。

ディスプレイを取り外す必要がある場合、「耳」を時計方向にハンマーで軽く叩くと、下部マウントリングが簡単に緩みます。

4. 電気接続

- A. ディスポーザーは適切な家庭用電源にのみ接続してください。（100v 50/60Hzを使用）
ディスポーザーを接続するコンセントにはスイッチが必要です。

危険：アース線を正しく接続しないと、感電の原因となることがあります。正しく接地されているか不明な場合は、資格のある電気技師または修理担当者に確認を依頼してください。プラグがコンセントに適合しない場合、プラグを改造しないでください。資格のある電気技師に適切なコンセントの取り付けを依頼してください。

アース線の取り付け方法

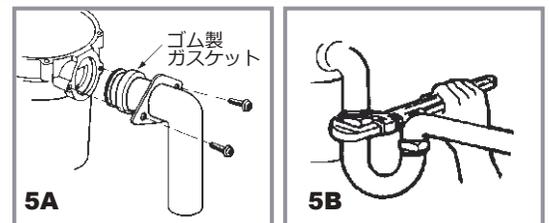
アース付きプラグを使用した電源コードを備えたディスポーザーの場合。

- B. この装置は接地が必要です。不具合や故障が発生した場合、電流が最も抵抗の少ないアース線を通ることによって感電の危険を低減します。本装置はアースとアース付きプラグを備えています。このプラグは、

各地域の規則や条例に従って取り付けられた適切な接地付きコンセントに差し込まなければなりません。電源コードが損傷した場合は、事故を避けるために、メーカーや同様の資格のある専門業者から交換品を入手してください。

5. 排水管エルボの取り付け

- A. 排水管エルボをディスポーザーに取り付け（5A参照）、ステップ6に進み、スリッパットを締め付けてエルボの底部を接続します（5B参照）。直管を使用する場合は、エルボと同様のリップが付いているものがが必要です。エルボからガスケットを外し、ディスポーザーの排出開口部に向けた直管のガスケットの平坦な端にガスケットを取り付けます。

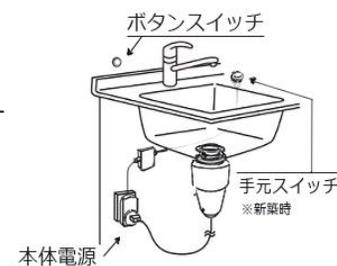


6. ワイヤレススイッチの取り付け

キッチン収納内にディスポーザー用電源を設備し、ディスポーザーと電源の間にワイヤレススイッチの受信機側を差し込んでください。送信機側のスイッチは排水口等から手の届く範囲を計算して壁側に垂直に取り付ける事を推奨します。既存の電源コンセントを使用する場合はディスポーザー本体と受信機を繋ぐコードを延長してください。

※新築時はディスポーザー用電源と連動した手元スイッチを設備するとキレイに仕上がります。

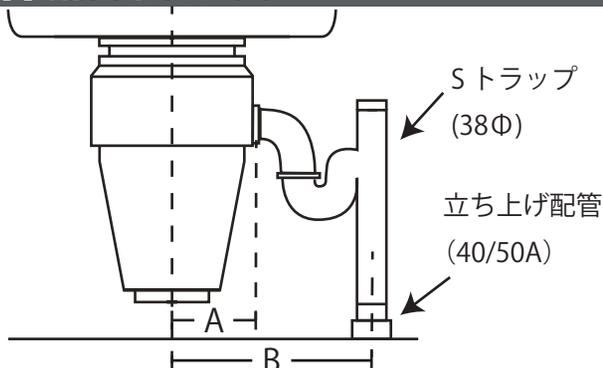
キッチン内の専用コンセントの場合



※専用コンセントがない場合



7. 配管取付け図



本体と配管の目安位置

A= 本体中心から排水エルボ接続部分まで……82mm

B= 本体中心から立ち上げ配管まで……………195mm(最大値)

※ディスポーザー本体の中心から、およそ 100～250mmの範囲に排水管を「40/50A」で立ち上げてください。範囲外の場合は配管の延長や専用ホースで対応してください。

